

パーソナリティ障害と共に生きる2022

2022.12.11 

12:30~15:30 (12:00開場)

横浜市健康福祉総合センターホール

参加費 一般 ¥1,500 会員 ¥1,000

定員 150名 (事前申込不要)



基調講演

「パーソナリティ障害を生き延びる」

【講師】小林 亜希子先生

(マインドフルネス心理臨床センター 代表)

体験談発表 ~本人・家族

トークディスカッション

質疑応答

【コメンテーター】中根 潤先生 (下総精神医療センター 副院長)

【司会】武田 綾 (当会心理療法士)

今後の状況によっては変更の可能性がございます。
HPで最新の情報をご確認いただくか、事務局へ
お問い合わせください。

NPO法人のびの会事務局

tel : 045-787-0889 (火~土 11:00~17:00)

NOBINOKAI <http://nobinokai.or.jp>



講師略歴

小林 亜希子(こばやしあきこ)

公認心理師・臨床心理士・マインドフルネス講師。

1999年慶應義塾大学大学院社会学研究科(臨床心理学)修士課程修了。横浜市立大学、関東学院大学、上智大学等で学生相談、神奈川県・東京都のスクールカウンセラー事業に従事。また、母子生活支援施設、東京都立多摩総合精神保健福祉センターでDV被害者支援や依存症支援に従事し、個別支援(カウンセリング)と、認知行動療法に基づく集団療法を行う。

2019年アディクションに対するマインドフルネス(MBRP)の講師養成講座(UCSDマインドフルネスセンター主催)を修了。2022年マインドフル・セルフ・コンパッションの講師養成講座(MSC Trained Teacher:Center for Mindful Self-Compassion主催)を修了。

2019年よりマインドフルネス心理臨床センター代表。

著書:共著 やめられない!を手放す マインドフルネス・ノート(日本評論社)

見どころ

女性の様々な依存症の根っこには、境界性パーソナリティ障害をはじめとした、様々なパーソナリティ障害が潜んでいます。

どうしてこうなったのか、これからどうなるのか、どうすれば少しでも生きやすくなるのか。

講師ご自身が一つずつ実践されたうえでのお話はリアリティに満ちています。

ぜひお越しください。

パーソナリティ障害とは

大多数の人とは違う反応や行動をすることで本人が苦しんだり、周囲が困ったりする場合に診断されます。

認知(ものの捉え方や考え方)、感情のコントロール、対人関係といった種々の精神機能の偏りから生じるものです。

お願い

- ・来場前に検温をお願いします。37.5℃以上の場合にはご来場をお控えください。
- ・マスクの着用と会場での手指消毒にご協力ください。
- ・会場内では他の方と距離を取ってご着席ください。
- ・会場や病院への直接のお問い合わせはご遠慮ください。

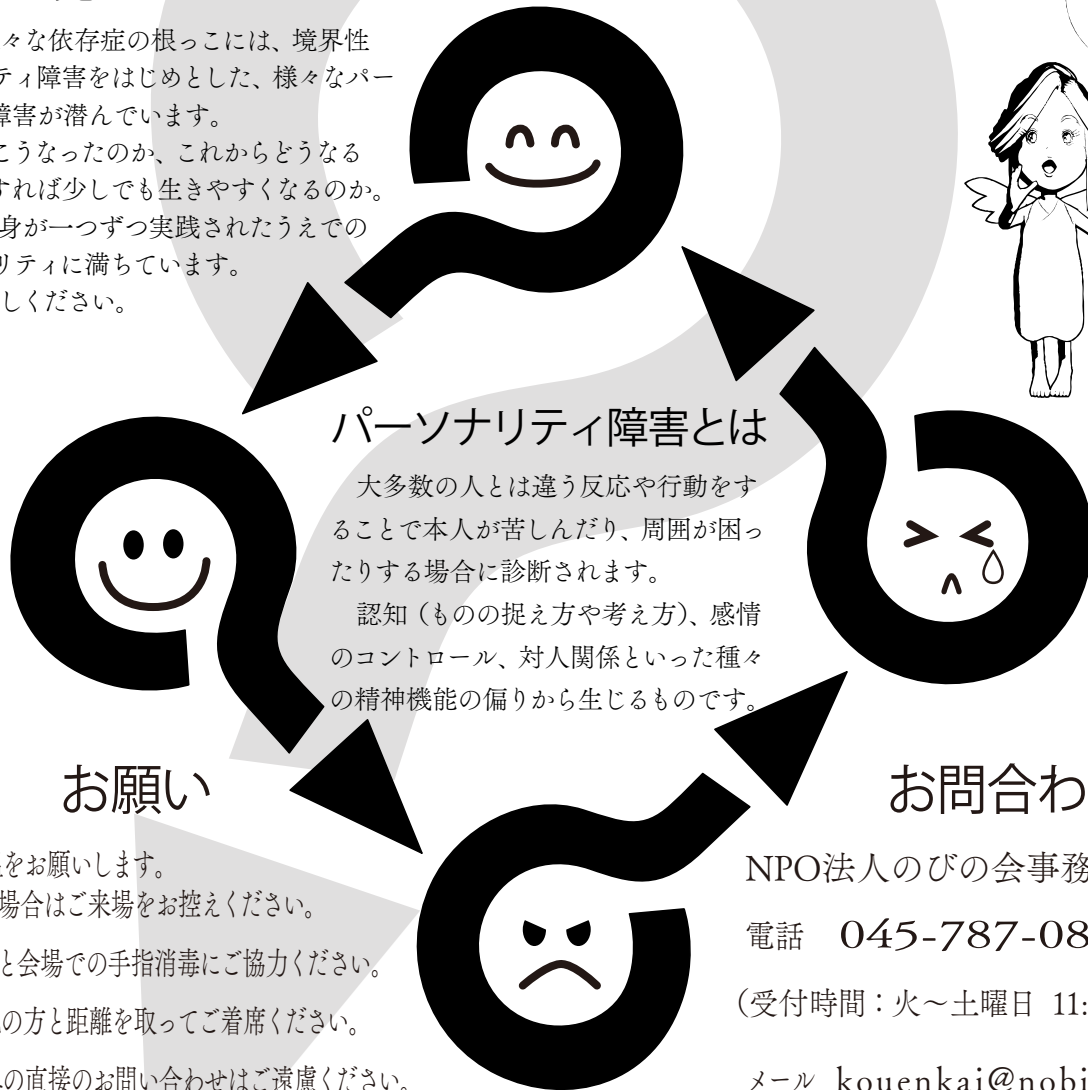
お問い合わせ

NPO法人のびの会事務局

電話 045-787-0889

(受付時間:火~土曜日 11:00~17:00)

メール kouenkai@nobinokai.or.jp



会場アクセス

- ・JR京浜東北線、根岸線「桜木町駅」下車。南改札を出て右手にある「野毛ちかみち」を下り、「西出口」(エレベーターあり)からお上がりください。
- ・横浜市営地下鉄ブルーライン「桜木町駅」は、そのまま「野毛ちかみち」につながっています。

